

# 19. 患者構成の指標

## 項目の解説

厚生労働省の DPC 評価分科会の公開データです。

(DPC 毎の在院日数を該当年全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数を、当該年度全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値で除した値)

参考：DPC 導入の影響評価に関する調査（厚生労働省）

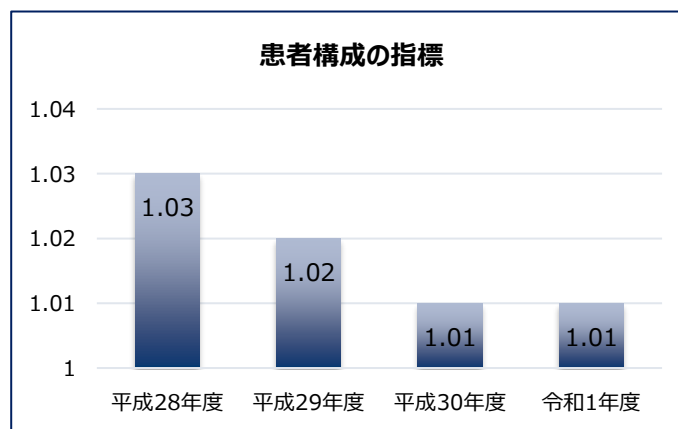
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/sinryo/dpc.html>

## 算式

指数

## 当院の実績

令和 01 年度	1.01
平成 30 年度	1.01
平成 29 年度	1.02
平成 28 年度	1.03



## 定義

在院日数の長い複雑な疾患の患者を、どの程度診療しているのかを表現した指標です。全国の DPC 対象病院の疾患毎の平均在院日数を用いて、患者構成の違いを相対的に表します。

数値は 1 が全国平均であり、1 より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する大学附属病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。項目 20「在院日数の指標」と、項目 21「患者構成の指標」の二つの指標をつかって、どの程度複雑な疾患を、どの程度効率的に診療しているか、病院の特性を知ることができます。